

普及技術（平成25年度）

分類名〔草地飼料〕

## 飼料用とうもろこし奨励品種「NS110」

宮城県畜産試験場

### 1 取り上げた理由

市販されている流通品種の特性を把握することを目的とした県内適応品種選定試験を行った結果、安定した成績を示す品種「NS110」が見いだされたので普及技術とする。

### 2 普及技術

- 1) 飼料用とうもろこしとして「NS110（系統名 KE0604）」を奨励する。
  - a 生育特性において奨励品種の「34B39」と同等である。
  - b 耐倒伏性，すす紋病，根腐れ病抵抗性は，現奨励品種の34B39より優れる。
  - c 収量性については生草収量(kg/10a)が奨励品種の34B39に対し劣ったが，乾物収量やTDN収量等については同等である。
  - d 主な特性は下記のとおりである。

系統名	品種名	早晚性	メーカー RM	収量性	対倒伏性	ごま葉 枯れ病
KE0604	NS110	中早生	110	◎	◎	◎

凡例：◎優れる      ○普通      △やや劣る

※畜産試験場において5月上旬に播種し，発芽の翌日から収穫期までの3カ年平均

### 3 利活用の留意点

- 1) 栽培管理については，「牧草・飼料作物（県奨励品種）栽培の手引き」を基本とすること。
- 2) 栽植本数は10a当たり7,000～7,500本とし，1本仕立てとする。

（問い合わせ先：宮城県畜産試験場草地飼料部 電話0229-72-3101）

#### 4 背景となった主要な試験研究

- 1) 飼料作物・牧草適応品種の選定（平成23～25年度）
- 2) 参考データ

表1 生育特性

品種名	発芽の良否	初期生育	稈長	着雌穂高	倒伏割合	折損割合
	※1	※1	(cm)	(cm)	(%)	(%)
NS110	8.1	6.9	274	121	0.3	0.3
きみまる(参考)	7.2	7.1	237	134	0.1	0.4
セシリア※2	8.0	6.9	245	130	0	0.5
34B39※3 (奨励品種)	9.0	6.5	270	135	0.4	0.6

※1 極不良1-極良9とする評点

※2 東北地域飼料用トウモロコシ品種選定ネットワーク(東北6県, (独)東北農研センター)の品種選定試験時標準品種

※3 34B39の試験結果は平成23年から24年の2カ年間, 他品種はH23年からH25年までの3カ年間の成績

表2 耐病性

品種名	倒伏割合 (%)	折損割合 (%)	罹病個体の全個体に対する割合(%)				
			ゴマ葉枯病	すす紋病	黒穂病	根腐病	紋枯病
NS110	0.3	0.3	3.5	1.3	0.0	0.8	55.6
きみまる(参考)	1.1	0.3	3.3	2.0	0.0	4.8	46.9
セシリア※1	0.7	0.4	3.9	2.3	0.0	4.2	40.5
34B39※2 (奨励品種)	1.0	0.4	4.6	2.6	0.0	4.5	48.7

※1 東北地域飼料用トウモロコシ品種選定ネットワーク(東北6県, (独)東北農研センター)の品種選定試験時標準品種

※2 34B39の試験結果は平成23年から24年の2カ年間, 他品種はH23年からH25年までの3カ年間の成績

表3 収量性

品種名	生草収量(kg/10a)			乾物率(%)			乾物収量(kg/10a)			乾雌穂重 割合(%)	TDN収量 (kg/10a)
	茎葉	雌穂	総重	茎葉	雌穂	全体	茎葉	雌穂	全体		
NS110	4,676	1,662	6,292 b	21	51	29	986	861	1,847 ns	46.0	1,258 ns
きみまる(参考)	4,378	1,665	5,996 b	21	53	30	923	890	1,815 ns	48.6	1,225 ns
セシリア※1	4,441	1,693	6,134 b	20	49	28	907	831	1,738 ns	47.6	1,196 ns
34B39※2	5,116	2,016	7,132 a	19	54	29	968	1,094	2,063 ns	56.2	1,408 ns

※1 東北地域飼料用トウモロコシ品種選定ネットワーク(東北6県, (独)東北農研センター)の品種選定試験時標準品種

※2 34B39の試験結果は平成23年から24年の2カ年間, 他品種はH23年からH25年までの3カ年間の成績

- 3) 発表論文等

なし

- 4) 共同研究機関

(独)東北農研センター, 東北地方各県